

有や僧兵 夏に練る

越二向二揆まつり



勇ましく練り歩く武者行列
〓白山市別宮町

第二十一回鳥越一向一揆まつり(北國新聞社共催)は十日、白山市出合町の「食彩館せせらぎ」前特設ステージ周辺で行われ、武者や農民、僧兵などに扮した地元住民約三百二十人の行列が盛夏の日差しの下を練り歩き、「百姓ノ持チタル國」を再現した。

行列は今年から新たな「鼓隊」を先頭に、同市た。に加わった「虫送り太」鳥越支所前を出発し、二十分ほどかけて開会場の特設ステージに

帰省客からも楽しむ

会式などにぎわう主

城跡バックに七色の競演

北國花火鳥越大会

北國花火鳥越大会(北國新聞社主催)は、響の競演が地域住民や十、鳥越一向一揆まつりでにぎわう白山市出合町の「食彩館せせらぎ」周辺で行われ、鳥越城跡をバックに輝く七色の光と、周囲の



山間の夜空を彩る花火
—白山市出合町(多重露光)

到着した。ステージに鳥越城主の鈴木出羽守役を務めた旧鳥越村出身の元県議、橋爪義守さん、二曲姫役の國田里佳さん(鳥越小一年)、姫の遊び相手役の道浦琴乃さん(同三年)が上がる。その後、参加者が次々に述べた。

とパフォーマンスを披露した。夜は和太鼓の競演や踊りの夕べなどが繰り広げられた。開会式では実行委員会の板倉武雄会長が、中川石雄県議、石田正昭市議会議長が祝辞を述べた。

山々にこだまする大音響の競演が地域住民や十、鳥越一向一揆まつりでにぎわう白山市出合町の「食彩館せせらぎ」周辺で行われ、鳥越城跡をバックに輝く七色の光と、周囲の

れたスペシャルスターマインから10号玉五連発、ウルトラスターマイン「鳥越の夜空は宝宝箱」に続くフィナーレまで、山間の夜空を次々と大輪が彩った。

その後、詩の朗読グループ「漣(れん)の会」のメンバー二人が広津洋一の詩十数編を朗読し、金沢で高校時代を過ごして二十九歳で天逝(よせい)した詩人の功績のんだ。

幕開けし、初舞台とった山崎紅音さん(二は、岩岸春菜さん(二と「加賀の菊」で初しい振る舞いを見せた。